

平成25年度夏季(平成25年6月～25年8月)旅館営業概況調査 (結果)

伊勢・出雲の大遷宮・富士山が人気、全体として東高西低傾向、インバウンドも回復へ

平成25年11月22日

一般社団法人日本旅館協会

一般社団法人日本旅館協会では、昭和39年より会員の営業動向を把握する目的として、主要観光地（温泉地を含む）の会員を対象に春・夏・秋・冬季営業概況調査を実施している。前回からホテル部門と客室利用率の調査を加えました。

1 旅館部門の調査結果

平成25年度（25年6月～8月）旅館部門の調査結果では総宿泊単価、宿泊単価が北海道・東北・中国・関西・関東・九州で前年比プラスへ。中部が総宿泊単価を落としたが宿泊単価は増加。東北は復興需要で価格は伸びたが稼働率は依然として低い。稼働率では中国・中部・関西で前年を超えたが、東北・関東・四国では伸び悩んだ。

全国平均では総宿泊単価はプラスになり宿泊単価と稼働率も上がった。大規模旅館は宿泊単価を伸ばすも稼働率は伸び悩み、中規模旅館は価格も稼働率も伸ばした。小規模旅館の価格が微増ながらも宿泊単価は伸びた。この夏季は全国的に猛暑や豪雨など天候異常が続き心配されたもののすべて上回った。全般的に団体旅行がやや低迷し、アベノミクス期待や円安効果でインバウンドが全国的にかなり戻りつつあり、特にアジア客が多い。直前予約やネット予約が多くなりかなり不安定な状況になってきた。

総宿泊単価は18,502円で前年比3.3%増、関西21,200円で増、北陸信越20,606円、関東16,568円、九州が17,302円、など中部以外はすべて増加した。

宿泊単価は13,112円で前年比5.2%増加、中国12,851円5.4%増、関東13,146円など全国で前年を上回った。猛暑や豪雨にも関わらず久しぶりに増加に転じた。

定員稼働率は6月35.4%、7月35.1%、8月48.5%。前年比では九州・中部・中国・関東・北海道・関西が良く、東北、北陸信越・四国の各地域は3ヶ月ともに前年を下回る。

客室利用率は全国で63.7%、前年比4.4%増加ではあるものの、年々利用率が上がっても一室当たりの利用人員は下がり、特に夏休みもあって個人客、家族客に占められていることが顕著になっている

規模別総宿泊単価は大規模18,734円で前年比3.5%、中規模17,203円1.3%増、小規模19,053円0.9%増

観光地別の定員稼働率は玉造松江・出雲湯の川、伊勢鳥羽・伊勢半島が遷宮効果により大きく伸び、逆に四国や北陸信越・東北の観光地が前年をかなり下回っている。

2 ホテル部門の調査結果

ホテル部門の調査結果の概要は以下の通りである。

総宿泊単価は8,552円、前年比0.5%増、近畿や関東・九州かなり伸びている。

宿泊単価は5,218円で前年比2.9%増、関東や九州・近畿がインバウンドの客によりかなり伸びが多くなっているが、対象となるホテル数が少ないので参考とされたい。

定員稼働率は48.6%で前年比5.5%増。

客室利用率は62.6%で前年比11.7%増、客室利用率を定員稼働率で除すると1日1室当りの平均利用人数は1.3人となる。

3 当季の状況

全国的に記録的な猛暑、豪雨に見舞われて団体客の伸び悩みがみられ、大会・イベントで集客した観

光地・都市ホテルが比較的多かった。伊勢神宮・出雲大社の大遷宮によりその周辺地域に多くの観光客が集まり、中部・西日本に一部にマイナス影響がみられた。アベノミクス効果や円安の影響からインバウンド客がかなり増加してきた。全体としては昨年より単価も利用人員も伸びていることが目立つところ。

原発事故の風評被害の影響から客足は戻りつつあるが元に戻った程度。伊勢神宮・出雲大社の大遷宮で中部、中国に観光客が増えたが、四国・中部に逆効果がみられた。7月の参院選挙や天候による観光客の減少もみられ、6・7月はかなり厳しい状況であった。

円安効果で各地に外国人が増えてきたが、逆に国内客の減少と団体客からグループ客・家族客に支えられている。依然としてネット予約の集客や間際予約で個人客が多く、団体旅行客の減少と価格を下げて人数を増やすところも多くなってきた。イベントや大会・祭りも各地にあり宿泊につなげたところもあり、特に地方都市が目立つところ。

4 来季の予想

アベノミクス効果に期待する声が多いものの期待先行、インバウンドの増加を期待し、各種スポーツ大会・イベントによる集客に力を入れる観光地・都市が多い。来期予想は前年並みが半数で、上昇傾向がやや多く、減少気味の回答はやや少なかった。世界遺産の富士山周辺は好影響の観光地が多く、紅葉シーズンに期待するところも多い。電気・燃料コストの増加を懸念、小人数のお客様増加による客室利用率の低下を懸念し、団体客の減少はかなり深刻になってきた。

(アンケート発送旅館数3,213社 回答旅館数388社 (内ホテル51社) 回答率12.1%)

注) 大規模旅館：客室数80室以上、中規模旅館：30～79室、小規模旅館：29室以下の旅館

総宿泊単価：3ヶ月の宿泊料と館内販売等の総売上高を宿泊人数で除した金額

宿泊単価：3ヶ月の1泊2食付き宿泊料及び室料の合計を宿泊人数で除した金額

定員稼働率：3ヶ月の総収容定員数に対する宿泊人員の割合

客室利用率：3ヶ月の総客室数に対する利用客室数の割合

1日1室当り売上：3ヶ月の総売上高を(客室数×92日)で除した金額

問い合わせ先：

- ・一般社団法人日本旅館協会事務局：中村・大熊 ☎: 03-5298-2270
- ・株式会社レジャー産業研究所 : 横溝 ☎: 03-3672-3248